

J. TEST ADレベルシラバス(暫定版)

2014年4月9日

2019年8月30日修正

J. TEST事務局/日本語検定協会

「J. TEST A～Dレベル」のシラバス暫定版です。

J. TESTの学習にぜひご利用ください。

* E～Fについては、「日本語初級学習基本項目」(ISBN9784931315808)をご覧ください。

(参考)

A～Dレベルと日本語能力試験(JLPT)とのおおよその比較は以下の通りです。

● 比較

< J. TEST >	< 日本語能力試験 (JLPT) >
(A-C レベル試験)	
Aレベル (900)	: — (N1以上)
Bレベル (800)	: — (N1以上)
準Bレベル (700)	: N1程度
Cレベル (600)	: N2程度
(D-E レベル試験)	
Dレベル (500)	: N3程度
Eレベル (350)	: N4程度
(F-G レベル試験)	
Fレベル (250)	: N5程度
Gレベル (180)	: — (N5前半程度)

● 表の記号について

1. 略語記号の意味

1) 品詞について

名詞は (名), 動詞は (動), 形容詞・い形容詞を (イ形), 形容動詞・な形容詞を (ダ形) とした。

2) 動詞の活用形について

辞書形は (ル), タ形は (タ), テ形は (テ), マス形は (マス), 意向形は (ウ) とした。

その他, 普通形は (普), 命令形は (命), 条件形は (条), 受身形は (受), 可能形は (可能), とした。

なお, 否定形は <否定> とした。(例 ; (可能<否定>))

ア 条件形について

条件形には、～たら、～ば等があるが、その場合は、(条タラ)、(条バ)等とした。

イ 受身形について

受身形では、「使われる」の場合には(受)ル、「使われない」の場合には(受)ナイ、と表記した。

ウ ナイ形について

ナイ形は、(ナイ)ない、(ナイ)ず、とした。

3) 形容詞について

(イ形)と(ダ形)は、活用に応じて、(イ形)くて、(イ形)かった、(ダ形)だ、(ダ形)に、等とした。

4) その他

(名1)は一つ目の名詞、(名2)は二つ目の名詞を表す。

2. その他表記について

1)「文型」欄で、接続する品詞によって省略することもある助詞、また同じものを繰り返して使用することもあるものについては、()書きとした。

2)「文型」欄で、「～」は、同類語の繰り返しの際に使用した。

3)「文型」欄で、「・・・」は、特に使用語彙に制限がないもの(自由要素)に使用した。

4)「文型」欄で、「ー」は、接尾辞など、他の語と接続するものに使用した。(例；ーがい(働きたい、等))

5)「文型」欄で、「/」は、置換可能なものを併記する場合に使用した。(例；ようがない/ようもない)

6)「文型」欄で、「|」は、接続するものによって形が変わるものを区別するのに使用した。(例；つもりだ|つमりの(名))

7)「備考」欄に、その文型に使用する活用形を明記した。

3. その他

1)「文型」欄で、「|」で分けたものについては、それぞれの形を使用した例文を併記した。

2)「例文」欄には、各文型について典型的な使われ方だと思われる文例のみを挙げた。

以上

シラバスAレベル

文型	備考
以外のなにものでもない	(イ形)い以外のなにものでもない・(タ形)以外のなにものでもない・(名)以外のなにものでもない
うございます	(イ形)うございます ※ーしい→しゅう
覚えはない [1]	(タ)覚えはない
覚えはない [2]	(受)ル覚えはない
か	(テ)か
がまま(に)	(受)ルがまま
からぬ	(イ形)からぬ
ぎわ 際	(マス)ぎわ 際
ごたえがある	(マス)ごたえがある
ざまに	(マス)ざまに
しなに	(マス)しなに
しも	
たい	(受)たい
倒れ(に終わる)	(名)倒れ
足らず	(名)足らず
たらん	(名)たらんと
…であろうと(…であろうと)	(名)であろうと
…でなしに…	(名1)でなしに(名2)
とあれば	(普)とあれば・(イ形)いとあれば・(タ形)とあれば・(名)とあれば
というような／といったような いうように ／といったように	(ル)というような・(ナイ)ないというような・(名)というよ うな (ル)いうように・(ナイ)ないいうように・(名)いう ように
といえよう	(普)といえよう・(イ形)いといえよう・(タ形)だといえよう・ (名)だといえよう
…と(でも)いおうか(…といおうか)	(名)といおうか
…といわず…といわず	(名1)といわず(名2)といわず
とか何とか	(普)とか何とか・(イ形)いとか何とか・(タ形)だとか何と か・(名)だとか何とか
ときた日には	(名)ときた日には
ともあろう…が	(名1)ともあろう(名2)が
なるもの	(名)なるもの

なればこそ	(名)なればこそ
なんぞ	(名)なんぞ
に事欠かない	(ル)に事欠かない
にしのびない	(ル)にしのびない
に照らして	(名)に照らして
にとどまらず	(名)にとどまらず
に則って	(名)に則って
～には～だが	(ル)には(タ)が
にひかえて	(名)にひかえて
にひけをとらない	(名)にひけをとらない
にもほどがある	(イ形)いにもほどがある・(タ形)にもほどがある
によっては	(ウ)によっては
願わくば…たい	願わくば(マス)たい
のける	(テ)のける
の候 <small>こう</small>	(名)の候
のことと	(名)のことと
のなんの	(ル)のなんの・(ナイ)のなんの・(イ形)のなんの・(タ形)ななんの
のみか…も	(名1)のみか(名2)も
の様相を呈する	(名)の様相を呈する
はいうにおよばず	(名)はいうにおよばず
はいわずもがな	(名)はいわずもがな
はずみに／はずみで	(タ)はずみに
～は～で	(名)は(名)で
は何にもならない	(テ)は何にもならない
はめになる	(ル)はめになる
拍子に	(タ)拍子に
ふしがある	(普)ふしがある
ぶり／っぶり	(マス)ぶり・(名)ぶり
分(に)は	(普)分は
ほうだい	(マス)ほうだい
向きもある	(ル)向きもある
もそこそこに	(名)もそこそこに
もともと	(テ)もともと
ものとして ものとする	(普)ものとして (普)ものとする
も無理はない	(テ)も無理はない

矢先(に)	(タ)矢先
やしない	(マス)やしない
…や…(は)	(名1)や(名2)
やれ…だ…だ	やれ(名1)だ(名2)だ
ゆえん(所以)	(ル)ゆえん・(タ)ゆえん・(名)のゆえん・(名)とするゆえん
ようで(は)	(マス)ようで
らしからぬ	(名)らしからぬ
～わ～わ	(ル1)わ(ル2)わ
をおして	(名)をおして
を機に	(名)を機に
をくだらない	(名)をくだらない
を境に	(名)を境に
を前提に(して)	(名)を前提に
をたよりに	(名)をたよりに
をなおざりにして	(名)をなおざりにして
をふまえて	(名)をふまえて
を経て	(名)を経て
をもって代える	(名)をもって代える
んとする	(ナイ)んとする ※する→せず

シラバスBレベル

文型	備考
合間に	(ル)合間に・(テ)いる合間に・(名)の合間に
あつての	(名)あつての
いかんだ	(名)いかん
折に(は)	(ル)折に・(タ)折に・(名)の折に
が	(ウ)が
限りだ	(イ形)い限りだ・(タ形)な限りだ
が最後／ら最後	(タ)が最後
かたがた	(名)かたがた
かたわら	(ル)かたわら・(名)のかたわら
がてら	(マス)がてら・(名)がてら
かという／かといえ	(普)かという・(イ形)いかという・(タ形)かという・(名)かという
かのごとく	(タ)かのごとく
が早いか	(ル)が早いか
～が～まいが	(ウ)が(ル)まいが
からある	(名)からある
からというもの	(テ)からというもの
感がある	(普)感がある・(イ形)い感がある・(タ形)な感がある
兆しがある／兆しが見られる	(ル)兆しがある・(名)の兆しがある
きらいがある	(普)きらいがある
極まりない	(イ形)いこと極まりない・(タ形)極まりない
こそ	(条バ)こそ
こととて	(ル)こととて・(イ形)いこととて・(タ形)なこととて・(名)のこととて
こともあつて	(タ)こともあつて
始末だ	(普)始末だ
ずくめ	(名)ずくめ
ずとも良い	(ナイ)ずとも良い ※する→せず
ずにはおかない／ないではおかない	(ナイ)ずにはおかない ※する→せず
ずにはすまない／ないではすまない	(ナイ)ずにはすまない ※する→せず
すべがない	(ル)すべがない
すら	(ル)ことすら・(名)すら
そばから	(ル)そばから・(タ)そばから
それまでだ	(条バ)それまでだ

だにしない だにせず(に)	(名)だにしない (名)だにせず
たまえ	(マス)たまえ
たりとも…ない	(名)たりとも(ナイ)ない
たる	(名)たる
たるや	(名)たるや
…つ…つ	(マス1)つ(マス2)つ
であれ	(名)であれ
でなくてなんだろう	(名)でなくてなんだろう
ではあるまいし	(名)ではあるまいし
手前	(タ)手前
と	(名)と
と(が)相まって	(名)と相まって
とあって	(普)とあって・(イ形)いとあって・(ダ形)とあって・(名)とあって
とあれば	(名)とあれば
…といい…といい	(名1)といい(名2)といい
というところだ / といったところだ	(ル)というところだ・(名)というところだ
といえども	(名)といえども
といったら(ありはし)ない	(名)といったらない・(イ形)いといったらない・(ダ形)い い いたらない
と思いきや	(普)と思いきや・(イ形)いと思いきや・(ダ形)だと思いき や・(名)だと思いきや
ときたら	(名)ときたら
ところで	(タ)ところで
ところを	(ル)ところを・(イ形)いところを・(ダ形)なところを・(名)の ところを
とて	(名)とて
とは	(普)とは・(イ形)いとは・(ダ形)だとは・(名)とは
とはいえ	(タ)とはいえ
と(言わん)ばかりに	(普)とばかりに・(イ形)いとばかりに・(ダ形)だとばかり に・(名)だとばかりに
ともなく / ともなしに	(ル)ともなく
ともなると / ともなれば	(名)ともなると
とやら	(名)とやら
ないまでも	(ナイ)ないまでも
ないものでもない	(ナイ)ないものでもない
ながらに	(名)ながらに

ながらも	(マス)ながらも・(イ形)いながらも・(ダ形)でありながらも・(名)でありながらも
なくして(は)	(名)なくして
なしに	(ル)ことなしに・(名)なしに
ならでは(の)	(名)ならでは
ならまだしも	(普)ならまだしも・(イ形)いならまだしも・(ダ形)ならまだしも・(名)ならまだしも
なり	(ル)なり
なり…なり	(ル1)なり(ル2)なり・(名1)なり(名2)なり
なりに	(タ)なりに・(イ形)いなりに・(ダ形)なりに・(名)なりに
に(は)あたらない	(ル)にあたらない・(名)にあたらない
にあって	(名)にあって
に至って に至る(まで)	(ル)に至って (ル)に至る
にかかっては	(名)にかかっては
に関わる	(名)に関わる
にかこつけて	(名)にかこつけて
にかたくない	(名)にかたくない
にかまけて	(名)にかまけて
にして	(名)にして
に即して	(名)に即して
にたえない にたえる	(ル)にたえない (ル)にたえる
に足る	(ル)に足る・(名)に足る
には及ばない	(ル)には及ばない
にひきかえ	(普)のにひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのひきかえ・(名)にひきかえ
～にも～ない	(ウ)にも(可能<否定>)
にもまして	(タ)のにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(名)にもまして
の至り	(名)の至り
の極み	(名)の極み
(ただ…)のみ(ならず)	(ル)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ
場合ではない	(普)場合ではない
はおろか	(ル)ことはおろか・(名)はおろか
はかなわない	(テ)はかなわない
はばからない	(テ)はばからない
べからざる べからず	(ル)べからざる (ル)べからず

べく	(ル)べく
べくもない	(ル)べくもない
まじき	(ル)まじき
までだ／までのことだ	(ル)までだ
までもない までもなく	(ル)までもない (ル)までもなく
まみれ	(名)まみれ
めく	(名)めく
もさることながら	(名)もさることながら
も同然	(タ)も同然
ものを	(普)ものを・(イ形)いものを・(タ形)なものを
や／やいなや	(ル)や
やまない	(テ)やまない
ゆえ(に／の)	(普)ゆえ・(イ形)いゆえ・(タ形)ゆえ・(名)ゆえ
ろくに…ない	ろくに(可能<否定>)
をおいて	(名)をおいて
を限りに	(名)を限りに
を兼ねて	(名)を兼ねて
を皮切りに(して)	(名)を皮切りに・(タ)のを皮切りに
を禁じ得ない	(名)を禁じ得ない
をもって	(名)をもって
をもってしても	(名)をもってしても
をものともせずに	(名)をものともせずに
を余儀なくさせる／される	(名)を余儀なくさせる
をよそに	(名)をよそに
んがため(に／の)	(ナイ)んがため(※する→せず)
んばかりだ／に／の	(ナイ)んばかりだ(※する→せず)

シラバスCレベル

文型	備考
あげく(に)	(タ)あげく・(名)のあげく
あまり	(普)あまり・(イ形)いあまり・(ダ形)なあまり・(名)のあまり
以降	(テ)以降
以上(は)	(タ)以上
以来	(テ)以来
^{うえ} 上で(は／も) ^{うえ} 上(で)の	(タ)上で (タ)上の
^{うえ} 上は	(タ)上は
^う 得る／ ^え 得る	(マス)得る
- がい	(マス)がい
かいがある	(ル)かいがある・(タ)かいがある
か否か	(ル)か否か・(タ)か否か・(イ形)いか否か・(ダ形)か否か・(名)か否か
限り(では／は)	(ル)限り・(ナイ)ない限り・(イ形)い限り・(ダ形)な限り・(名)である限り
がたい	(マス)がたい
かと思うと／かと思ったら	(タ)かと思うと
～か～ないかのうちに	(ル)か(ナイ)ないかのうちに
かねない	(マス)かねない
かねる	(マス)かねる
かのようだ	(普)かのようだ・(イ形)いかのようだ・(ダ形)であるかのようだ・(名)であるかのようだ
～か～まいか	(ウ)か(ル)まいか
からいいようなものの	(普)からいいようなものの・(イ形)いからいいようなものの・(ダ形)だからいいようなものの・(名)だからいいようなものの
からして	(名)からして
からすると／からすれば	(名)からすると
からなる	(名)からなる
…かれ…かれ	(イ形1)かれ(イ形2)かれ
- 気味	(マス)気味・(名)気味

きり きりだ	(タ)きり (タ)きりだ
きりがない	(条タラ)きりがない
くせに	(普)くせに・(イ形)いくせに・(ダ形)なくせに・(名)のくせに
くらいなら	(ル)くらいなら・(ナイ)ないくらいなら
- げだ	(イ形)げだ
こそすれ	(マス)こそすれ・(名)こそすれ
ことこのうえない	(イ形)いことこのうえない・(ダ形)なことこのうえない
ことだ	(ル)ことだ・(ナイ)ないことだ
ことだし	(普)ことだし・(イ形)いことだし・(ダ形)なことだし・(名)であることだし
ことなく	(ル)ことなく
ことに(は)	(タ)ことに・(イ形)いことに・(ダ形)なことに
～ことは～	(普)ことは(普)・(イ形)いことは(イ形)い・(ダ形)なことは(ダ形)だ・(名)なことは(名)だ
(で)さえ	(名)さえ
ざるを得ない	(ナイ)ざるを得ない ※する→せず
- 次第	(マス)次第
- 次第だ 次第で(は)	(名)次第だ (名)次第で
じゃないか / ではないか	(ウ)じゃないか
- ^{じょう} 上(は/も)	(名)上
^{すえ} 末に ^{すえ} 末の	(タ)末に・(名)の末に (タ)末の・(名)の末の
ずじまい	(ナイ)ずじまい ※する→せず
ずにはいられない	(ナイ)ずにはいられない ※する→せず
だけあって / だけに	(普)だけあって・(イ形)いだけあって・(ダ形)なだけあって・(名)だけあって
だけました	(普)だけました・(イ形)いだけました・(ダ形)なだけました・(ダ形)であるだけました・(名)であるだけました
たまるか	(テ)たまるか
ためしがない	(タ)ためしがない
- っこない	(マス)っこない
ったら / ってば	(名)ったら
つつ(も)	(マス)つつ
つつある	(マス)つつある

ってば	(普)ってば・(イ形)いってば・(ダ形)だってば・(名)だってば
- っぽい	(マス)っぽい・(名)っぽい
~という~	(名)という(名)
…というか…というか	(普1)というか(普2)というか・(イ形1)いというか(イ形2)いというか・(ダ形1)というか(ダ形2)というか・(名1)というか(名2)というか
というと／といえば／といったら	(名)というと
というものだ	(ウ)というものだ
というものではない／というものでもない	(普)というものではない・(イ形)いというものではない・(ダ形)だというものではない・(名)だというものではない
といった	(ル)といった・(名)といった
と言っても言い過ぎではない／と言っても過言ではない	(普)と言っても言い過ぎではない・(イ形)いと言っても言い過ぎではない・(ダ形)だと言っても言い過ぎではない・(名)だと言っても言い過ぎではない
と(は)うってかわって	(名)とうってかわって
どころか	(ル)どころか・(ナイ)どころか・(イ形)いどころか・(ダ形)どころか・(名)どころか
ところだった	(ル)ところだった
ところではない	(ル)ところではない・(ナイ)ところではない・(イ形)ところではない・(ダ形)ところではない・(名)ところではない
としたり／にしたり／としたところで／にしたところで	(ル)としたり・(名)だとしたり
とともに	(ル)とともに・(名)とともに
となると	(普)となると・(イ形)いとなると・(ダ形)だとなると・(名)となると・(名)だとなると
ないことには	(ナイ)ないことには
ないことはない／ないこともない	(ナイ)ないことはない
ないではいられない	(ナイ)ないではいられない
ないものか	(ナイ)ないものか
ながら	(イ形)いながら・(ダ形)ながら・(名)ながら
- なみだ - なみに - なみの	(名)なみだ (名)なみに (名)なみの
ならない	(テ)ならない
に値する	(ル)に値する・(名)に値する
にあたって／にあたり	(ル)にあたって・(名)にあたって
に言わせれば	(名)に言わせれば

に応じて に応じた	(普)かに応じて・(イ形)いかに応じて・(ダ形)かに応じて・(名)に応じて (普)かに応じた・(イ形)いかに応じた・(ダ形)かに応じた・(名)に応じた
におかれましては	(名)におかれましては
にもかかわらず	(普)にもかかわらず・(イ形)いにもかかわらず・(ダ形)にもかかわらず・(ダ形)であるにもかかわらず・(名)にもかかわらず・(名)であるにもかかわらず
に限ったことではない	(名)に限ったことではない
に限って / に限り	(名)に限って
に関して(は / も) に関する	(名)に関して (名)に関する
に加え / に加えて	(名)に加え
に越したことはない	(ル)に越したことはない・(ナイ)ないに越したことはない・(イ形)いに越したことはない・(ダ形)であるに越したことはない・(名)であるに越したことはない
にこたえ / にこたえて にこたえる	(名)にこたえ (名)にこたえる
に際し / に際して に際しての	(ル)に際し・(名)に際し (ル)に際しての・(名)に際しての
に先立ち / 先立って 先立つ	(ル)に先立ち・(名)に先立ち (ル)に先立つ・(名)に先立つ
にしては	(普)にしては・(名)にしては
にしても / にしろ / に(も)せよ	(普)にしても・(イ形)いにしても・(ダ形)にしても・(ダ形)であるにしても・(名)にしても・(名)であるにしても
に過ぎない	(普)に過ぎない・(イ形)いに過ぎない・(ダ形)に過ぎない・(名)に過ぎない
に相違ない	(普)に相違ない・(イ形)いに相違ない・(ダ形)に相違ない・(名)に相違ない
につけ / につけて(は / も)	(ル)につけ・(名)につけ
に伴い / に伴って に伴う	(名)に伴い (名)に伴う
にほかならない	(名)にほかならない
に基づいて / に基づき に基づいた / に基づく	(名)に基づいて (名)に基づいた
抜きで(は) / 抜きに(は) 抜きの	(名)抜きで (名)抜きの
抜く	(マス)抜く
のことだから	(名)のことだから
ので(は)あるまいか	(普)のであるまいか・(イ形)いのであるまいか・(ナ形)なのであるまいか・(名)なのであるまいか

(ただ／ひとり)…のみならず	(普)のみならず・(イ形)いのみならず・(ダ形)であるのみならず・(名)のみならず
のもと(で／に)	(名)のもと
ばかりだ	(ル)ばかりだ
ばかりに	(普)ばかりに・(イ形)いばかりに・(ダ形)なばかりに・(ダ形)であるばかりに・(名)であるばかりに
ばかりはいられない／ばかりもいられない	(テ)ばかりはいられない
はさておき	(名)はさておき
はどうあれ	(名)はどうあれ
はともかく(として)	(名)はともかく
はもとより	(名)はもとより
ほうがました	(普)ほうがました・(イ形)いほうがました・(ダ形)なほうがました・(名)のほうがました
まい	(ル)まい
(まさか…)まい	(ル)まい
までして	(マス)までして・(名)までして
もかまわず	(名)もかまわず
もさしつかえない	(テ)もさしつかえない
もしない	(マス)もしない
もなんともない	(イ形)くもなんともない・(ダ形)でもなんともない・(名)でもなんともない
もの	(普)もの・(イ形)いもの・(ダ形)だもの・(名)だもの
ものがある	(普)ものがある・(イ形)いものがある・(ダ形)なものがある
ものだから	(普)ものだから・(イ形)いものだから・(ダ形)なものだから・(名)なものだから
ものなら[1]	(ル)ものなら・(ナイ)ものなら・(イ形)いものなら・(ダ形)なものなら・(名)なものなら
ものなら[2]	(ウ)ものなら
ものの	(普)ものの・(イ形)いものの・(ダ形)なもの・(ダ形)であるものの・(名)であるものの
…も…ば、…も…	(名1)も(条バ)、(名2)も
…やら…やら	(名1)やら(名2)やら
…よし、…よし	(テ1)よし、(テ2)よし
を契機に(して)／を契機として	(名)を契機に
を問わず	(名)を問わず
を抜きにして(は)	(名)を抜きにして

を始め(とする)	(名)を始め
をめぐって をめぐる	(名)をめぐって (名)をめぐる

シラバスDレベル

文型	備考
一方だ	(ル)一方だ
^{うえ} 上に	(ル)上に・(イ形)い上に・(ダ形)な上に・(名)の上に
うちに	(普)うちに・(イ形)いうちに・(ダ形)なうちに・(名)のうちに
おかげだ	(ル)おかげだ・(タ)おかげだ・(イ形)いおかげだ・(ダ形)なおかげだ・(名)のおかげだ
おそれがある	(ル)おそれがある・(ナイ)ないおそれがある・(名)のおそれがある
- かけだ - かけの - かける	(マス)かけだ (マス)かけの (マス)かける
- がちだ - がちの	(マス)がちだ・(名)がちだ (マス)がちの・(名)がちの
かどうかにかかっている	(普)かどうかにかかっている・(イ形)いかどうかにかかっている・(ダ形)かどうかにかかっている・(名)かどうかにかかっている
かのようだ	(普)かのようだ・(イ形)いかのようだ・(ダ形)であるかのようだ・(名)であるかのようだ
…から…にかけて	(名1)から(名2)にかけて
から言うと／から言えば／から言って	(名)から言うと
からでない／からでなければ	(テ)からでない
からといって	(普)からといって・(イ形)いからといって・(ダ形)だからといって・(名)だからといって
からには	(普)からには・(イ形)いからには・(ダ形)であるからには・(名)であるからには
から見て(も)／から見ると／から見れば	(名)から見て
かわりに にかわって／にかわり	(普)かわりに・(イ形)いかわりに・(ダ形)なかわりに・(ダ形)であるかわりに・(名)のかわりに・(名)であるかわりに (名)にかわって
きる	(マス)きる
くらい／ぐらい	(普)くらい・(イ形)いくらい・(ダ形)なくらい・(名)くらい
くらいのものだ	(名)くらいのものだ
こそ	(名)こそ
ことか	(普)ことか・(イ形)いことか・(ダ形)なことか・(名)であることか

ことから	(普)ことから・(イ形)いことから・(ダ形)なことから・(名)であることから
こととなっている／ことになっている	(ル)こととなっている・(ナイ)ないこととなっている
ことはない	(ル)ことはない
これといって…はない	これといって(名)はない
際(に)／際(に)は	(普)際・(イ形)い際・(ダ形)な際・(名)の際
最中	(テ)いる最中・(名)の最中
さえ…ば	(名)さえ(条バ)
しかない	(ル)しかない
しょうがない	(テ)しょうがない
せいだ	(普)せいだ・(イ形)いせいだ・(ダ形)なせいだ・(名)のせいだ (普)せいで・(イ形)いせいで・(ダ形)なせいで・(名)のせいで
(ただ…)だけでなく	(普)だけでなく・(イ形)いだけでなく・(ダ形)なだけでなく・(ダ形)であるだけでなく・(名)だけでなく・(名)であるだけでなく
たとえ…も	たとえ(テ)も
たび(に)	(ル)たび・(名)のたび
たまらない	(テ)たまらない
- だらけ	(名)だらけ
ついでに	(ル)ついでに・(タ)ついでに・(名)のついでに
つけ	(普)つけ・(イ形)いつけ・(ダ形)だつけ・(名)だつけ
- っぱなし	(マス)っぱなし
つもりだ つもりで	(普)つもりだ・(イ形)いつもりだ・(ダ形)なつもりだ・(名)のつもりだ (普)つもりで・(イ形)いつもりで・(ダ形)なつもりで・(名)のつもりで
でもなんでもない	(ダ形)でもなんでもない・(名)でもなんでもない
という	(普)という・(イ形)いという・(ダ形)だという・(名)だという
ということだ	(普)ということだ・(イ形)いということだ・(ダ形)だということだ・(名)だということだ
というより	(普)というより・(イ形)いというより・(ダ形)だというより・(名)というより
といっても	(普)といっても・(イ形)いといっても・(ダ形)だといっても・(名)といっても・(名)だといっても
どうしようもない	(テ)どうしようもない
とおり(に) - どおり(に)	(ル)とおり・(タ)とおり・(名)のとおり (名)どおり

とか	(普)とか・(イ形)いとか・(ダ形)だとか・(名)とか・(名)だとか
ところ	(タ)ところ
ところに／ところへ／ところを	(タ)ところに・(テ)いるところに・(テ)いたところに
とされている	(普)とされている・(イ形)いとされている・(ダ形)だとされている・(名)とされている・(名)だとされている
としたことが	(名)としたことが
としたら／とすれば	(普)としたら・(イ形)いとしたら・(ダ形)だとしたら・(名)としたら・(名)だとしたら
として(は／も)	(名)として
とたん(に)	(タ)とたん
とともに	(普)とともに・(イ形)いとともに・(ダ形)であるとともに・(名)とともに
とは限らない	(普)とは限らない・(イ形)いとは限らない・(ダ形)だとは限らない・(名)とは限らない・(名)だととは限らない
とみえて	(普)とみえて・(イ形)いとみえて・(ダ形)だとみえて・(名)だとみえて
とみられている	(普)とみられている・(イ形)いとみられている・(ダ形)だとみられている・(名)とみられている・(名)だとみられている
ないとも限らない	(ナイ)ないとも限らない
…ない…はいない／…ない…はない	(ナイ)ない(名)はいない
など…ない／なんか…ない／なんて…ない	(名)など(ナイ)ない
～に～	(マス)に(タ)
において(は／も) における	(名)において (名)における
にかけては	(名)にかけては
に決まっている	(ル)に決まっている・(ナイ)ないに決まっている・(イ形)いに決まっている・(ダ形)に決まっている・(名)に決まっている
に比べ／に比べて	(名)に比べ
に従い／に従って	(ル)に従い・(名)に従い
にしたら／にすれば	(名)にしたら
に沿い／に沿って に沿う／に沿った	(名)に沿い (名)に沿う
に対し／に対して(は／も) に対する	(名)に対し (名)に対する
に違いない	(普)に違いない・(イ形)いに違いない・(ダ形)に違いない・(名)に違いない
について(は)／につき についての	(名)について (名)についての
につれ／につれて	(ル)につれ・(名)につれ

にて	(名)にて
にとつて(の／は／も)	(名)にとつて
に反し／に反して に反した／に反する	(名)に反し (名)に反した
によつて(は)／により による によると／ によれば	(名)によつて (名)による (名)によると
にわたつた／にわたる にわたつて／にわ たり	(名)にわたつた (名)にわたつて
…は…	(テ)は(動)
～ば～ほど	(条バ)(ル)ほど
ばかりか／ばかりでなく	(普)ばかりか・(イ形)いばかりか・(ダ形)なばかりか・ (名)ばかりか・(名)であるばかりか
はもちろん	(名)はもちろん
反面	(普)反面・(イ形)い反面・(ダ形)な反面・(名)である反 面・(名)の反面
べきだ	(ル)べきだ
(より)ほか(は)しかた(が)ない／(より)ほ か(は)ない	(ル)ほかしかたない
ほど	(普)ほど・(イ形)いほど・(ダ形)なほど・(名)ほど・(名) であるほど
ほど ほどだ ほどの	(普)ほど・(イ形)いほど・(ダ形)なほど・(名)ほど・(名) であるほど (普)ほどだ・(イ形)いほどだ・(ダ形)なほど だ・(名)ほどだ・(名)であるほどだ (普)ほどの・(イ形) いほどの・(ダ形)なほどの・(名)ほどの・(名)であるほど の
まで	(テ)まで
- 向きだ - 向きに - 向きの	(名)向きだ (名)向きに (名)向きの
- 向けだ - 向けに - 向けの	(名)向けだ (名)向けに (名)向けの
ものか	(普)ものか・(イ形)いものか・(ダ形)なものか・(名)なも のか・(名)であるものか
ものだ	(普)ものだ・(イ形)いものだ・(ダ形)なものだ・(名)である ものだ
ようがない／ようもない	(マス)ようがない
ように	(普)ように・(イ形)いように・(ダ形)なように・(名)のよう に・(名)であるように
～ら～で	(条タラ)(タ)で
わけがない／わけはない	(普)わけがない・(イ形)いわけがない・(ダ形)なわけが ない・(名)のわけがない・(名)であるわけがない

わけだ	(普)わけだ・(イ形)いわけだ・(ダ形)なわけだ・(名)なわけだ・(名)であるわけだ
わけにはいかない／わけにもいかない	(ル)わけにはいかない・(ナイ)ないわけにはいかない
割に(は)	(普)割に・(イ形)い割に・(ダ形)な割に・(名)の割に・(名)である割に
を…として を…とする	(名1)を(名2)として (名1)を(名2)とする
をきっかけとして／をきっかけに(して)	(名)をきっかけとして
をこめて	(名)をこめて
を中心として／を中心に(して)	(名)を中心として
を ^{つう} 通じて／を ^{とお} 通して	(名)を通じて
をもとに(して)	(名)をもとに

(暫定版)以上